

ポードレス・アートセッションinとやま 2024 H氏とM氏とN氏の作品展

ここ数年、ありのままの表現などと呼ばれる、障がいのある人の造形や表現への注目度が高まり、今では様々な展覧会が全国いたるところで開催されて、支援活動も活発に行われています。県内でも、そのような作家や作品について知る機会が少しずつ増えてきました。本展は、2018年に県民会館美術館で開催されたポードレス・アートセッションinTOYAMAのシリーズとして、様々な視点で多様な表現を紹介していきます。

今回は、このようなアートが今のように注目される以前から、創作に取り組んできた30代から70代の3人の独創性の高い作品と、作者を支援する人たちのストーリーを紹介します。

多様なアートがもつ新たな魅力に触れることができれば幸いです。

3/9(土)

14:00~15:00

**ギャラリー
トーク**

創作支援に取り組んできた作家2人が作家や作品の背景について解説します。

清河 恵美

(日本画家)
中谷稔氏が25年通う
絵画教室の恩師

米田 昌功

(日本画家)
村中洋介氏が所属している工房ココベリの代表、
アールブリュット作品調査活動の途上でH氏の作品に偶然出会う。



富山県民会館美術館

〒930-0006 富山市新総曲輪4番18号
TEL 076-432-3113
<https://www.bunka-toyama.jp/keminkaikan/>

中谷 稔 (なかやみのる)

- 1952生 富山県在住
- 1998 清河恵美日本画教室に園職員の紹介で通い始める。
- 2001 かねてんコラボ・アート21 佳作 (キッズプラザ大阪)
- 2003 かねてんコラボ・アート21 (キッズプラザ大阪)
- 2005 第7回てんか展 (日本全国総合賞) 特別賞 (札幌大同ギャラリー) エイブル・石川 (金沢21世紀美術館)
- 2006 中谷稔展 (北日本新聞新川支社ギャラリー)
- 2007 かねてんコラボ・アート21 審査員特別森口賞 (大阪梅田スカイビル)
- 2008 中谷稔展 (黒部川電気記念館)
- 2015 入善町展 佳作 (入善コスモホール)
- 2016 越中アートフェスタ 入選 (2022年まで入選) (富山県民会館)
- 2018 越中アートフェスタ 奨励賞 (富山県民会館)
- 2019 気の実 生のまま アール・ブリュット@高岡4 (高岡市美術館) 和日 作美 素生の表現者たち (富山県 勝興寺)
- 2021 朝日町美術展 町展賞 (朝日町立ふるさと美術館) 彩の絵 (富山県リハビリテーションセンターNANTANギャラリー)
- 2022 PAT&BRUT とやま世界子ども舞台芸術祭併催展 (北日本新聞社ギャラリー)
- 2023 ビエンナーレTOYAMA2023 第2期 (富山県美術館TADギャラリー)
- 現在 71歳



村中 洋介 (むらなか ようすけ)

- 1986生 射水市在住
- 2006 障害者アート支援工房ココベリ発足
- 2007 第1回KAI=KAIグループ展 「L+P=?」 (元麻布ギャラリー)
- 2008 第2回KAI=KAIグループ展 「L+P=?」 (元麻布ギャラリー) 第3回越中アートフェスタ 優秀賞 (富山県民会館) 八尾スローアートショー2008 (富山市立榎尾小学校)
- 2009 越中アートフェスタ 佳作 (富山県民会館) 八尾スローアートショー2009 (富山市立榎尾小学校)
- 2010 越中アートフェスタ 佳作 (富山県民会館)
- 2011 越中アートフェスタ 奨励賞 (富山県民会館)
- 2013 太閤山ビエンナーレ2013 (太閤山ランドふるさとギャラリー) 個展「Request from the sky」 (射水水大島絵本館)
- 2019 気の実 生のまま アール・ブリュット@高岡4 (高岡市美術館) 和日 作美 素生の表現者たち (富山県 勝興寺)
- 2023 NOMAMAtoGAMAMA 氷見のアール・ブリュット展 (氷見市芸術文化館)
- 現在 37歳



H (えいち)

- 1949生 富山県在住
- 1988 事故
- 2008 症状の記録を始める
- 2011 入院
- 2018 カメラマン大西暢夫氏が取材で病院を訪れた際に偶然作品を見かけたことがきっかけとなり、ポードレス・アートミュージアムNO-MA、はーと@とやま共同で作品を調査。以“身”伝心 (滋賀県 ポードレス・アートミュージアムNO-MA) アール・ブリュットin上越 (新潟県 浄興寺) HEARTの中のART ポードレス・アートセッション in TOYAMA (薬種商の館金岡邸)
- 2019 気の実 生のまま アール・ブリュット@高岡4 (高岡市美術館) BIENNALE HORS NORMES (フランス リヨン) ビエンナーレTOYAMA2019 (富山県美術館TADギャラリー) 和日 作美 素生の表現者たち (富山県 勝興寺)
- 2021 beのコトと人とこの美 (南砺市立福光美術館)
- 現在 74歳



3/10(日)14:00~15:45 アートコミュ「心を揺らすアート 地域をつくるアート」

会場：富山県民会館美術館内特設会場 参加料・申込不要

今、障がいのある人の作品がとても注目されています。なぜこんなにも心を揺さぶるのか？アートにとっての障がい者、障がい者にとってのアート。その歴史や実践例、3人の作家のエピソードや富山、新潟での支援活動の様子など、それぞれの視点から地域役割やその魅力について、障がいのある人の表現に携わってきた2人が語り合います。進行：米田昌功

GUEST

角地 智史 (新潟アールブリュット・サポートセンターNASCアートディレクター)

2013年 新潟大学工学部人間工学科卒業。写真家として活動しながら、同年障がい者アートの支援活動を行っている「NPO法人アートキャンプ新潟」のメンバーに。2016年には、障がい者アート支援活動モデル事業であるNASC発足とともに現職に就く。2020年には日本博での展覧会「アール・ブリュット—日本人と自然—in 東海・北陸」のキュレーターを務めるなど、新潟県のアート支援ネットワークの中心として、アートと福祉の垣根を越えて各種事業の企画、運営に取り組んでいる。